

日本生理学会 100周年記念事業・記念大会

開催趣意書

日本生理学会
100周年記念事業委員会
第100回記念大会

理事長 石川義弘 (横浜市立大学・教授)
委員長 丸中良典 (京都府立医科大学・名誉教授
日本生理学会 前理事長)
大会長 伊佐 正 (京都大学大学院医学研究科・教授)

ご挨拶

謹啓 協賛企業の皆様、学会員の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日本生理学会の発足は、大正 11 年（1922 年）に京都で開催された日本医学会総会・分科会の際に生理学単独での大会を開催しようという機運が生まれ、早速同年 7 月に第一回大会が東京にて開催されたことに始まるとされています（日本生理学教室史上巻より）。それ以降 1944 年と 45 年の 2 年間を除いて毎年大会が開催され、2022 年をもって 100 周年、そして 2023 年に第 100 回大会を迎えることとなります。そこで日本生理学会はこの記念すべき第 100 回大会に合わせて 100 周年記念事業を執り行うことと致しました。

生理学とは、私達の生命の営みの基本となる原理の解明を目指す学問です。その研究の成果は、私達が自らの身体や精神の活動を理解するための医学的知識の最も基本的な部分を成し、それによって創薬も含めた治療法の開発、疾患の予防や健康のための教育、さらに近年では生体を模したロボットや人工知能の開発にも貢献してきました。

このたびの 100 周年記念事業におきましては、私達はこれまでの 100 年の日本の生理学の歩みを振り返るとともに次の 100 年を展望してさらなる発展を目指す機会としたいと思います。過去 100 年の医学・生理学の歴史は、私達の健康寿命の確実な進展に反映されるように確かに人間の健康増進に貢献してきたと言えます。一方で 2020 年に始まったコロナウイルスの感染拡大は様々な局面で人間社会の在り方を変えようとしています。私たち人類はその英知をもって現在の困難な状況をどのようにして克服していけば良いのでしょうか？その中で「生理学が社会に貢献できるものは何か」を、人類、そして我々が住む世界の持続可能性に向けて、今一度謙虚に考え直してみることも必要かもしれません。そこで、第 100 回記念大会は、「恒常性と持続可能性～生理学の次なる 100 年に向けて～」を全体テーマとし、未来に向けて学会員や大会に参加される皆様がそれぞれに思いを馳せ、議論する場としたいと考えています。

昨今の厳しい経済情勢の折、誠に恐縮ではございますが、本記念事業の趣旨をご理解いただき、是非とも皆様にご参画を賜りたく、ここにお願い申し上げます。

拠出いただきました企業の皆様からの協賛費用は、各社が公表する事について承諾いたします。

末筆ではございますが、皆様の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2021 年 7 月吉日

| | | |
|---------------|-----|------------------------------------|
| 日本生理学会 | 理事長 | 石川義弘（横浜市立大学・教授） |
| 100 周年記念事業委員会 | 委員長 | 丸中良典（京都府立医科大学・名誉教授 日本生理学会 前理事長） |
| 第 100 回記念大会 | 大会長 | 伊佐 正（京都大学大学院医学研究科・教授） |



100周年記念事業・記念大会概要

1. 名称 日本生理学会 100周年記念事業・記念大会
2. 主催 一般社団法人日本生理学会
3. 大会テーマ 恒常性と持続可能性～生理学の次なる100年に向けて～
Homeostasis for sustainability –Toward the next century of physiological sciences-
4. 責任者 日本生理学会理事長 石川 義弘 (横浜市立大学 教授)
100周年記念事業委員長 丸中 良典 (京都府立医科大学 名誉教授・
日本生理学会 前理事長)
100回記念大会大会長 伊佐 正 (京都大学大学院医学研究科 教授)
5. 事業期間 100周年記念事業 2021年7月1日(木) -2023年3月31日(金)
100回記念大会 2023年3月14日(火) -16日(木)
6. 会場 国立京都国際会館 (京都市左京区宝ヶ池)
※一部のプログラムは事後配信の予定
7. 目的と意義 日本生理学会は身体の基本的な機能と仕組みを解き明かそうとしています。これにより、ライフサイエンスの進歩を目指しています。この活動を通じ、より健康な体づくり、病気の理解、治療、予防に貢献しています。記念事業では、これまでの100年を振り返り、生理学の立ち位置を確認し、生理学の裾野を広げていけるような取り組みを行う予定です。
8. 事業計画の概要
 - 1) 100周年記念事業
 - ・ 100周年記念誌の発行
 - ・ 100周年記念品の制作
 - ・ 100回記念大会での記念行事 (特別講演、記念シンポジウム等)
 - 2) 100回記念大会
 - ・ 100周年記念シンポジウム
講演者
Sue Wray (UK, IPUS president, FEPS president)
Dee Silverthorn (US, APS president)
Robyn Murphy (Australia PS president)
Chae-Hun Leem (Korea, FAOPS president, KPS president)

- ・プレナリーレクチャー
講演者
山中 伸弥 (京都大学 iPS 細胞研究所)
Svante Paabo (Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology)
Bente Klarlund Pedersen (University of Copenhagen)
- ・特別講演
講演者
狩野 方伸 (東京大学大学院医学系研究科 機能生物学専攻 神経生理学)
箕越 靖彦 (自然科学研究機構生理学研究所)
Sidonia Fagarasan (理化学研究所 生命医科学研究センター)
- ・大会特別企画講演
岡野 栄之 (慶應義塾大学)
上田 泰己 (東京大学)
斎藤 通紀 (京都大学)
- ・教育講演
- ・シンポジウム ※詳細は項目 15 を参照
- ・一般演題 (ポスター)
- ・ランチョンセミナー
- ・機器、試薬、書籍等展示会

9. 予算参加人数 2,000 名 (有料参加者 1,850 名、招待・学部生 150 名)

10. 事業組織

1) 100 周年記念事業・記念大会組織委員会

委員長 丸中 良典 (京都府立医科大学 名誉教授・日本生理学会 前理事長)
委員 石川 義弘 (横浜市立大学 教授・日本生理学会理事長)、稲垣 暢也 (京都大学 教授)、岩井 一宏 (京都大学 教授)、大森 治紀 (京都大学 名誉教授)、岡田 泰伸 (生理学研究所 名誉教授)、狩野 方伸 (東京大学 教授)、栗原 敏 (東京慈恵会医科大学 名誉教授)、鍋倉 淳一 (生理学研究所 教授)、柚崎 通介 (慶應義塾大学 教授)

2) 100 周年記念事業委員会

委員長 丸中 良典 (京都府立医科大学 名誉教授・日本生理学会 前理事長)
委員 伊佐 正、石川 透、上田 陽一、内田 さえ、尾野 恭一、尾松 万里子、北澤 茂、酒井 秀紀、佐藤 達之、高橋 倫子、樽野 陽幸、西谷 友重、美津島 大、宮田 麻理子、渡辺 賢

3) 100 回記念大会幹事会

大会長 伊佐 正 (京都大学 教授)
実行委員長 佐々木 努 (京都大学 教授)
副実行委員長 樽野 陽幸 (京都府立医科大学 教授)、齋藤 康彦 (奈良県立医科大学 教授)
プログラム委員長 八木田 和弘 (京都府立医科大学 教授)
副プログラム委員長 林 悠 (京都大学 教授)
事務局 笠井 昌俊、伊佐 かおる、長良 理智子、田名部 佳余美

4) 100 回記念大会実行委員会

委員長 佐々木 努 (京都大学 教授)
副委員長 樽野 陽幸 (京都府立医科大学 教授)、齋藤 康彦 (奈良県立医科大学 教授)
委員 荒田 晶子 (兵庫医科大学)、岡村 康司 (大阪大学)、尾松 万里子 (滋賀医科大学)、金桶 吉起 (和歌山県立医科大学)、川口 真也 (京都大学)、北澤 茂 (大阪大学)、坂場 武史 (同志社大学)、新里 直美 (京都先端科学大学)、林 悠 (京都大学)、等 誠司 (滋賀医科大学)、古江 秀昌 (兵庫医科大学)、森 泰生 (京都大学)、八木田 和弘 (京都府立医科大学)、渡邊 大 (京都大学)

5) 100 回記念大会プログラム委員会

委員長 八木田 和弘 (京都府立医科大学 教授)
副委員長 林 悠 (京都大学 教授)
委員 内田 さえ (東京都健康長寿医療センター)、大谷 直子 (大阪市立大学)、小野 富三人 (大阪医科大学)、柿澤 昌 (京都大学)、齋藤 康彦 (奈良県立医科大学)、内匠 透 (神戸大学)、樽野 陽幸 (京都府立医科大学)、中田 正範 (和歌山県立医科大学)、中村 渉 (長崎大学)、西谷 (中村) 友重 (和歌山県立医科大学)、任 書晃 (岐阜大学)、等 誠司 (滋賀医科大学)、檜山 武史 (岡山大学)、堀江 恭二 (奈良県立医科大学)、増木 静江 (信州大学)、松岡 達 (福井大学)、三枝 理博 (金沢大学)、水関 健司 (大阪市立大学)、村松 里衣子 (国立精神・神経医療研究センター)、山口 良文 (北海道大学)、山仲 勇二郎 (北海道大学)、渡部 文子 (東京慈恵会医科大学)

11. 振込先

銀行名：三菱UFJ銀行

支店：神保町支店 (013)

口座番号：普通 1402112

口座名：日本生理学会第100回記念大会 大会長 伊佐 正

ニホニシカケツカイダニヤツカケネツカケイ 伊 正

12. キャンセルポリシー

申込み受理後は、組織委員会が不可抗力と認めた事象以外は原則解約することはできません。組織委員会が解約を認めた場合には、出展解約理由を書面にてお送りいただき、受領した日を基準として解約料金をお支払いください。

※解約料金

申込締切日までに受領した場合…請求額（協賛料金）の50%をお支払いください。

申込締切日以後に受領した場合…請求額（協賛料金）の全額をお支払いください。

天災・その他のやむを得ない事情、並びに主催の責任に帰し得ない原因により、大会および展示会の開催を変更・中止する場合があります。この変更により生じた協賛各社の損害は補償できかねます。前述の原因により開催中止、又は開催形式が変更になった場合は、主催は協賛各社に対し、共催費・協賛費から準備費用を除いた金額を算出し、請求又は返金致します。

13. 記念事業に関するお問い合わせ先

1) 大会事務局

京都大学大学院医学研究科 神経生物学分野

笠井 昌俊、伊佐 かおる、長良 理智子、田名部 佳余美

TEL : 075-753-4353 E-mail : admin-hbfp@googlegroups.com

2) 運営事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6階

株式会社 エー・イー企画内

TEL: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164 E-mail: e-psj2023@aeplan.co.jp

14. 収支予算

収入の部

| 費目 | 単価 | 数量 | 金額 |
|--------------------|-------------|----------------|--------------------|
| 1 参加費 | | 1,800 名 | ¥30,420,000 |
| 事前登録 | 事前合計 | 1,180 名 | |
| 一般会員 | 20,000 × | 700 名 | 14,000,000 |
| 一般非会員 | 24,000 × | 200 名 | 4,800,000 |
| 大学院生 | 3,000 × | 280 名 | 840,000 |
| 学部生 | 0 × | 0 名 | 0 |
| 当日登録 | 当日合計 | 620 名 | |
| 一般会員 | 22,000 × | 300 名 | 6,600,000 |
| 一般非会員 | 26,000 × | 150 名 | 3,900,000 |
| 大学院生 | 4,000 × | 70 名 | 280,000 |
| 学部生 | 0 × | 100 名 | 0 |
| 2 懇親会 | | 200 名 | 1,040,000 |
| 事前一般 | 5,000 × | 130 名 | 650,000 |
| 事前学生 | 2,000 × | 20 名 | 40,000 |
| 当日一般 | 7,000 × | 50 名 | 350,000 |
| 当日学生 | 3,000 × | 0 名 | 0 |
| 2 共催セミナー | | | ¥10,780,000 |
| ランチョンセミナー | 1,320,000 × | 7 件 | 9,240,000 |
| アカデミア枠 | 770,000 × | 2 件 | 1,540,000 |
| 3 展示会 | | | ¥6,710,000 |
| 機器展示 | 220,000 × | 30 小間 | 6,600,000 |
| 書籍展示 | 11,000 × | 10 本 | 110,000 |
| 4 広告 | | 10 社 | ¥1,375,000 |
| 表4 | 220,000 × | 1 社 | 220,000 |
| 表2 | 198,000 × | 1 社 | 198,000 |
| 表3 | 165,000 × | 1 社 | 165,000 |
| 後付1頁 | 77,000 × | 2 社 | 154,000 |
| 後付1/2頁 | 44,000 × | 2 社 | 88,000 |
| ホームページバナー | 110,000 × | 1 社 | 110,000 |
| スクリーン・動画広告 | 220,000 × | 2 社 | 440,000 |
| 6 寄付・助成・補助金 | | | ¥13,000,000 |
| 企業寄付 | 5,000,000 × | 1 式 | 5,000,000 |
| 個人寄付 | 2,000,000 × | 1 式 | 2,000,000 |
| 日業連 | 5,000,000 × | 1 式 | 5,000,000 |
| 民間財団 | 1,000,000 × | 1 式 | 1,000,000 |
| 7 学会貸付金 | | | ¥2,000,000 |
| 合計 | | | ¥65,325,000 |

支出の部

| 費目 | 金額 |
|-----------------|--------------------|
| 1 事前準備費 | ¥20,100,000 |
| 1) 人件費 | 5,500,000 |
| 2) 会合費 | 100,000 |
| 3) システム関係費 | 5,000,000 |
| 4) ホームページ製作 | 1,000,000 |
| 5) 印刷・制作費 | 3,000,000 |
| 6) 翻訳費 | 500,000 |
| 7) 通信・運搬費 | 1,000,000 |
| 8) 記念事業関係費 | 4,000,000 |
| 2 当日運営費 | ¥42,200,000 |
| 1) 会場費 | 14,000,000 |
| 2) 機材費 | 10,000,000 |
| 3) 看板関係費 | 1,000,000 |
| 4) ポスター&展示会場関係費 | 2,500,000 |
| 5) 人件費 | 4,000,000 |
| 6) 招聘費 | 5,000,000 |
| 7) 会議費 | 4,000,000 |
| 8) 運営諸経費 | 700,000 |
| 9) 記念事業関係費 | 1,000,000 |
| 3 事後処理費 | ¥2,860,000 |
| 1) 事後処理費 | 800,000 |
| 2) 振込手数料 | 60,000 |
| 3) 学会貸付金返金 | 2,000,000 |
| 4 予備費 | ¥165,000 |
| 合計 | ¥65,325,000 |

15. シンポジウム

3月14日

| | | |
|---------|--------------|-------------|
| 企画 | 他学会連携委員会 | |
| テーマ | 感覚研究の新時代 | |
| 共催 | 日本薬理学会 | |
| オーガナイザー | 日比野 浩 (大阪大学) | 津田 誠 (九州大学) |

| | | |
|---------|----------------------------|------------------------|
| 企画 | 国際交流委員会 | |
| テーマ | オルガネラ・細胞機能のダイナミクスと恒常性 (仮題) | |
| 共催 | FAOPS-PSJ Joint Symposium | |
| オーガナイザー | 西田 基宏 (九州大学/生理学研究所) | Chae Hun Leem (ウルサン大学) |

| | | |
|---------|-------------------|---------------|
| テーマ | 社会性の神経科学 | |
| オーガナイザー | 宮田 麻理子 (東京女子医科大学) | 古屋敷 智之 (神戸大学) |

| | | |
|---------|-----------------|--------------|
| 企画 | 若手の会運営委員会 | |
| テーマ | 若者と考える科学・生理学の未来 | |
| オーガナイザー | 山田 大輔 (東京理科大学) | 須田 悠紀 (山梨大学) |

| | | |
|---------|-------------------------------|------------------|
| テーマ | 生理学から"運動医学"への挑戦：科学的エビデンスと社会実装 | |
| オーガナイザー | 増木 静江 (信州大学) | 樋口 京一 (長野保健医療大学) |

| | | |
|---------|--|--------------|
| テーマ | 行動基盤を解明する生理学的アプローチ～生理学の次の100年に向けて～WPJ 後援シンポジウム | |
| オーガナイザー | 荒田 晶子 (兵庫医科大学) | 中野 珠実 (大阪大学) |

| | | |
|---------|---------------|----------------------------|
| テーマ | アディクションの神経生物学 | |
| オーガナイザー | 金田 勝幸 (金沢大学) | 関野 祐子 (NPO 法人イノベーション創薬研究所) |

3月15日

| | | |
|---------|--------------------------|-------------|
| 企画 | 他学会連携委員会 | |
| テーマ | 進化するイメージング技術：新規プローブとその応用 | |
| 共催 | 日本生物物理学会 | |
| オーガナイザー | 福田 紀男 (東京慈恵会医科大学) | 鈴木 団 (大阪大学) |

| | | |
|---------|-----------------------------|-----------------|
| 企画 | 他学会連携委員会 | |
| テーマ | 臓器連関の基礎と臨床 | |
| 共催 | 日本自律神経学会 | |
| オーガナイザー | 黒澤 美枝子 (国際科学振興財団 バイオ研究所) | 原 直人 (国際医療福祉大学) |

| | | |
|---------|-------------------------------|----------------------|
| 企画 | 国際交流委員会 | |
| テーマ | 筋収縮の適応的調節・生理と病態 (仮題) | |
| 共催 | IUPS(YoP)-PSJ Joint Symposium | |
| オーガナイザー | 原 雄二 (静岡県立大学) | Susan Wray (リバプール大学) |

| | | |
|---------|--------------------------|--------------|
| 企画 | 100周年記念事業委員会 | |
| テーマ | AI技術が切り開く医学・生理学・生命科学の新展開 | |
| オーガナイザー | 美津島 大 (山口大学) | 高橋 倫子 (北里大学) |

| | | |
|---------|---------------------------------|----------------|
| 企画 | フィジオーム・システムバイオロジー推進特別委員会 | |
| テーマ | ブレイン コンピュータ インターフェイス：神経生理学からの視点 | |
| オーガナイザー | 倉智 嘉久 (大阪大学) | 八木 哲也 (福井工業大学) |

| | | |
|---------|------------------------------|-------------|
| テーマ | 免疫と血管による恒常性制御機構 | |
| オーガナイザー | 村松 里衣子 (国立精神・神経医 療研究センター) | 内匠 透 (神戸大学) |

| | | |
|---------|---------------------------|------------------------------|
| テーマ | 加齢に伴う生体機能低下と抗老化への多角的アプローチ | |
| オーガナイザー | 柿澤 昌 (京都大学) | 内田 さえ (東京都健康長寿医 療センター研究所) |

| | | |
|---------|----------------------------------|--------------|
| テーマ | pHが支える地球上の生命—地球環境がもたらした生命進化とその未来 | |
| オーガナイザー | 岡村 康司 (大阪大学) | 高橋 重成 (京都大学) |

| | | |
|---------|-------------------|-------------|
| テーマ | 哺乳類の冬眠・休眠の理解の現在地点 | |
| オーガナイザー | 山口 良文 (北海道大学) | 櫻井 武 (筑波大学) |

| | | |
|---------|----------------------|---------------|
| テーマ | 細胞老化：臓器の恒常性と寿命における役割 | |
| オーガナイザー | 大谷 直子 (大阪公立大学) | 佐田 亜衣子 (熊本大学) |

| | | |
|---------|---------------------------|---------------|
| テーマ | 糖尿病と血糖調節に寄与するホルモンの新たな生理機能 | |
| オーガナイザー | 松居 翔 (京都大学) | 藤谷 与士夫 (群馬大学) |

| | | |
|---------|---|----------------------------------|
| テーマ | 新しい生理学による腎臓病解明 | |
| オーガナイザー | 柳田 素子 (京都大学) | 井上 剛 (長崎大学) |
| テーマ | 不確実な外界環境に適応する動的神経機構：次世代の生理学研究 | |
| オーガナイザー | 小川 正晃 (京都大学) | 濱口 航介 (京都大学) |
| テーマ | ペリサイトの多様性と共通性 —生理機能と病態における役割— | |
| オーガナイザー | 橋谷 光 (名古屋市立大学) | Christopher Garland (オックスフォード大学) |
| テーマ | 電位依存性カチオンチャネルの制御機構と生体恒常性維持における意義 | |
| オーガナイザー | 村山 尚 (順天堂大学) | 赤羽 悟美 (東邦大学) |
| テーマ | 概日リズムが基軸となる生命の恒常性・持続性：体内時計の乱れが招く健康問題の克服に向けて | |
| オーガナイザー | 池田 正明 (埼玉医科大学) | 田丸 輝也 (東邦大学) |
| テーマ | 脂質・脂質アナログによるチャネル分子機能の制御メカニズムとその生理学的な重要性 | |
| オーガナイザー | 河合 喬文 (大阪大学) | 森 誠之 (産業医科大学) |
| テーマ | 核膜研究の最前線 | |
| オーガナイザー | 林 由起子 (東京医科大学) | 今泉 和則 (広島大学) |
| テーマ | 腸内環境に起因する消化管・血管病態生理研究のフロンティア | |
| オーガナイザー | 倉原 琳 (香川大学) | 伊原 栄吉 (九州大学) |
| テーマ | 健康と疾病に関わる概日リズムの重要性 | |
| オーガナイザー | 山仲 勇二郎 (北海道大学) | 金 尚弘 (名古屋大学) |
| テーマ | 骨格筋と脂肪の環境適応 | |
| オーガナイザー | 根本 崇宏 (日本医科大学) | 後藤 貴文 (鹿児島大学) |
| テーマ | ビックデータ時代の脳神経生理学～自己と他者をつなぐ超複雑系情動回路を解き明かす～ | |
| オーガナイザー | 揚妻 正和 (生理学研究所) | 笠井 淳司 (大阪大学) |

| | | |
|---------|--------------------|--------------|
| テーマ | 慢性炎症性疾患を代謝の視点で理解する | |
| オーガナイザー | 伊藤パディジャ 綾香 (名古屋大学) | 新井 郷子 (東京大学) |

| | | |
|---------|------------------------|--------------|
| テーマ | サプライズが誘導する脳の超適応 | |
| オーガナイザー | 関 和彦 (国立精神・神経医療研究センター) | 新井 郷子 (東京大学) |

3月16日

| | | |
|---------|--------------------------------------|----------------|
| 企画 | 他学会連携委員会 | |
| テーマ | 「構造－機能連関研究の最前線：生命現象を支える動的構造基盤を可視化する」 | |
| 共催 | 日本解剖学会 | |
| オーガナイザー | 日置 寛之 (順天堂大学) | 根本 知己 (生理学研究所) |

| | | |
|---------|----------------|-----------------|
| 企画 | 他学会連携委員会 | |
| テーマ | 「ストレス研究」の新しい展開 | |
| 共催 | 日本神経内分泌学会 | |
| オーガナイザー | 尾仲 達史 (自治医科大学) | 西 真弓 (奈良県立医科大学) |

| | | |
|---------|--------------------------------|-------------|
| 企画 | 他学会連携委員会 | |
| テーマ | リハビリテーション (理学療法) の基盤としての生理機能研究 | |
| 共催 | 日本理学療法学会連合 | |
| オーガナイザー | 小峰 秀彦 (産業技術総合研究所) | 浦川 将 (広島大学) |

| | | |
|---------|-------------------------------|--|
| 企画 | 国際交流委員会 | |
| テーマ | 胎児期・周産期における劇的環境変化に対する適応 | |
| 共催 | IUPS(YoP)-PSJ Joint Symposium | |
| オーガナイザー | 横山 詩子 (東京医科大学) | Bennet Laura (University of Auckland, New Zealand) |

| | | |
|---------|--------------------|-------------------|
| 企画 | 100周年記念事業委員会/教育委員会 | |
| テーマ | 生理学教育の現在、過去、未来 | |
| オーガナイザー | 椎橋 実智男 (埼玉医科大学) | 小野 富三人 (大阪医科薬科大学) |

| | | |
|---------|-----------------|----------------|
| 企画 | JPS 編集委員会 | |
| テーマ | 生理学研究の発表方法を議論する | |
| オーガナイザー | 富永 真琴 (生理学研究所) | 佐藤 元彦 (愛知医科大学) |

| | | |
|---------|--|------------------------|
| 企画 | 男女共同参画企画 | |
| テーマ | この 20 年の研究者環境の変遷から考える未来社会へのイノベーション — 今我々に必要な意識改革 — | |
| オーガナイザー | 志牟田 美佐 (東京慈恵会医科大学) | 西谷 (中村) 友重 (和歌山県立医科大学) |

| | | |
|---------|---|-------------------|
| 企画 | 学術研究委員会 | |
| テーマ | 恒常性と持続可能性を支える臓器間コミュニケーション：その制御と破綻のメカニズム | |
| 共催 | 日本医学会連合連携フォーラム | |
| オーガナイザー | 中村 和弘 (名古屋大学) | 加藤 絵夫 (東京慈恵会医科大学) |

| | | |
|---------|---------------------------------------|---------------|
| テーマ | 未病の理解へ向けて：最先端数理学からの挑戦 | |
| 共催 | 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) ムーンショット型研究開発事業 | |
| オーガナイザー | 合原 一幸 (東京医科大学) | 岩見 真吾 (名古屋大学) |

| | | |
|---------|------------------------------|----------------|
| テーマ | 革新的脳研究－高次脳機能を担う神経回路の全容解明にむけて | |
| 共催 | 革新的技術による脳機能ネットワークの全容解明 (革新脳) | |
| オーガナイザー | 岡部 繁男 (東京大学) | 村山 正宜 (理化学研究所) |

| | | |
|---------|-----------------------------|--------------|
| テーマ | 感覚機能と自律神経系の協調による恒常性調節機構 | |
| オーガナイザー | 米原 圭祐 (情報・システム研究機構国立遺伝学研究所) | 市木 貴子 (新潟大学) |

| | | |
|---------|-------------------|------------------------|
| テーマ | 個体レベルでの生命機能解析の新技术 | |
| オーガナイザー | 堀江 恭二 (奈良県立医科大学) | 隅山 健太 (国立研究開発法人理化学研究所) |

| | | |
|---------|--------------------------------|---------------|
| テーマ | 神経シグナル伝達におけるサブセルラー構造と機能のダイナミクス | |
| オーガナイザー | 三木 崇史 (同志社大学) | 神谷 温之 (北海道大学) |

| | | |
|---------|-------------------|-------------|
| テーマ | 中枢ドーパミン系の新たな切り口 | |
| オーガナイザー | 榎山 俊彦 (東京慈恵会医科大学) | 榎 正幸 (筑波大学) |

| | | |
|---------|--------------------------|-------------------|
| テーマ | 構造情報に立脚した膜輸送体の分子生理学研究最前線 | |
| オーガナイザー | 小川 治夫 (京都大学) | 永森 収志 (東京慈恵会医科大学) |

| | | |
|---------|-----------------------------|---------------|
| テーマ | 神経・シナプス機能の理解に向けた革新的ニューロ分子技術 | |
| オーガナイザー | 掛川 渉 (慶應義塾大学) | 清中 茂樹 (名古屋大学) |

| | | |
|---------|---|--------------|
| テーマ | ミトコンドリアの多彩な機能：興奮性の制御、細胞の生死・代謝制御から未知なるものまで | |
| オーガナイザー | 西谷 (中村) 友重 (和歌山県立医科大学) | 竹内 綾子 (福井大学) |

| | | |
|---------|------------------------|------------------|
| テーマ | 眼球および眼周囲における生理機能の概日リズム | |
| オーガナイザー | 池上 啓介 (愛知医科大学) | 土谷 佳樹 (京都府立医科大学) |

| | | |
|---------|---|-----------------------------|
| テーマ | 温度感受性 Transient Receptor Potential (TRP) チャンネル研究に至る 40 年の歩みとこれからの展望 | |
| オーガナイザー | 高山 靖規 (昭和大学) | 富永 真琴 (自然科学研究機構 生命創成探究センター) |

| | | |
|---------|----------------------|--------------|
| テーマ | グリアによってデコードされる脳情報の解明 | |
| オーガナイザー | 和氣 弘明 (名古屋大学) | 小泉 修一 (山梨大学) |

| | | |
|---------|---------------------------------|----------------|
| テーマ | 生体センシング機能の相互連関と運動中の循環調節におけるその役割 | |
| オーガナイザー | 小河 繁彦 (東洋大学) | 菅原 順 (産業技術研究所) |

| | | |
|---------|---------------------------------------|---------------|
| テーマ | 神経科学と工学の融合的技術によるこころのセンシングとコミュニケーション支援 | |
| オーガナイザー | 筒井 健一郎 (東北大学) | 佐々木 拓哉 (東北大学) |

| | | |
|---------|---------------------------|---------------|
| テーマ | 消化管研究の潮流変革～分子から細胞、そして個体へ～ | |
| オーガナイザー | 五十里 彰 (岐阜薬科大学) | 林 久由 (静岡県立大学) |

| | | |
|---------|--------------|-------------|
| テーマ | メレオロジカル神経生理学 | |
| オーガナイザー | 小山内 実 (大阪大学) | 虫明 元 (東北大学) |

| | | |
|---------|---------------------|---------------|
| テーマ | 大脳基底核の機能—運動制御のその先へ— | |
| オーガナイザー | 橘 吉寿 (神戸大学) | 南部 篤 (生理学研究所) |

| | | |
|---------|-----------------------------|--------------|
| テーマ | 良質な睡眠を生み出す分子神経基盤とその生理的作用の解明 | |
| オーガナイザー | 林 悠 (東京大学) | 三枝 理博 (金沢大学) |

| | | |
|---------|------------------------|--------------|
| テーマ | 摂食と代謝を制御する分子・神経回路メカニズム | |
| オーガナイザー | 酒寄 信幸 (広島大学) | 小澤 貴明 (大阪大学) |

募 金 募 集 要 項

●募金の名称

日本生理学会 100 周年記念事業・記念大会 寄付金

●募金期間

2021 年 7 月 1 日（木）より 2023 年 3 月 30 日（木）まで

●募金目標額

13,000,000 円

●募金の対象

個人会員、一般の方、一般企業、日薬連、民間財団等

●寄付金の用途

日本生理学会の 100 周年記念事業・記念大会の準備、運営および関連諸行事等の費用に充当させていただきます。

●申込方法

本事業の趣旨にご賛同いただける場合は、別紙申込書よりお申し込みください。

個人会員および一般の方については、一口 5,000 円より承ります。

なお、本事業にご支援いただく公益財団法人健康加齢医学振興財団にご寄付も可能です。公益財団法人健康加齢医学振興財団への寄付については、2022 年 4 月より申し込み開始予定です。

●振込先

銀行名：三菱 UFJ 銀行

支 店：神保町支店（013）

口座番号：普通 1402112

口 座 名：日本生理学会第100回記念大会 大会長 伊佐 正

ニホニヒリガツカイダイヤツカケネンタカイ イ タダシ

※上記振込先への寄付については、免税処置はありません。

●問合わせ先

第 100 回日本生理学会大会 運営事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6 階

株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内

TEL: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164 E-mail: e-psj2023@aeplan.co.jp

共催セミナー要項

●名称 日本生理学会100周年記念大会 共催セミナー

●開催日程 2023年3月14日（火）・15日（水）・16日（木）

●事後配信 2023年3月19日（月）～31日（金）（予定）

●会場および共催費

国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）

| セミナー形式 | 時間（予定） | 部屋 | 席数 | 共催費 |
|-----------|-------------|--------|----------|------------|
| ランチョンセミナー | 12:00～13:00 | 大会場 | 400席 | 1,650,000円 |
| | | 小会場 | 120-200席 | 1,320,000円 |
| | | アカデミア枠 | | 770,000円 |

※税込

●注意事項

- ・申込状況により、ご希望に添えない場合がございます。また会場の収容人数は、会場レイアウトの調整の都合上若干の変更がありますので、予めご了承下さい。
- ・共催セミナーは、日本生理学会100周年記念大会と参加各社の共催とします。
- ・ご請求書はセミナー枠の決定後、運営事務局より送付させていただきます。

●共催費に含まれるもの

- ・会場費
- ・会場既存の講演用機材（PCプロジェクター、スクリーン等）
- ・事後配信費用（Zoom等による収録および事後配信）
- ・音響、照明関係費
- ・講師控室（10名程度が入る控室をセミナー開催日にご用意致します。また、ご利用頂ける時間は学会が指定致します）

●共催費に含まれないもの

- ・セミナー会場内の飲食費（参加者にお弁当をご提供頂くことを想定しております。ただし、飲食の手配は学会が取りまとめますので、お弁当や飲料の種類は学会が指定致します。詳しくは、2023年1月発行予定の“共催セミナー開催の手引き”に記載致します。）
- ・控室内飲食費
- ・会場既存以外の特殊な機材関係費（音声ライン、ビデオ撮影、収録等）
- ・看板装飾費
- ・運営人件費（会場係、進行係等）
- ・座長および講演者の謝礼金、旅費、宿泊費

※アカデミア枠については参加者用お弁当100個を大会で負担します。

●セミナー内容

共催社よりご提案してください。座長や演者の選出が難しい場合は、大会よりご紹介も可能です。

●共催証

1社につき10枚お渡しします。それ以上の枚数をご希望の場合、受付にて参加費のお支払いをお願いします。

●申込み期限

2022年10月31日（月）

●申込み方法

大会ホームページよりお申込みください。申込みは先着順となります。

●お問い合わせ先

第100回日本生理学会大会 運営事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6階

株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内

TEL: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164 E-mail: e-psj2023@aeplan.co.jp

共催シンポジウムのご案内

- 名称 日本生理学会100周年記念大会 共催シンポジウム
- 開催日程 2023年3月14日（火）・15日（水）・16日（木）における指定シンポジウム
- 会場 国立京都国際会館（京都市左京区宝ヶ池）
- 共催費 330,000円（税込）/シンポジウム
- 共催内容
 - ・共催するシンポジウムをご指定いただき、プログラム抄録集にてシンポジウム内容を記載する際、「共催：〇〇（貴社名など）」と表示いたします。
 - ・プログラム抄録集へ広告（後付 1頁 白黒）を掲載いたします。
 - ・シンポジウム開始前3分間、講演会場のスクリーンへ動画広告を投影、または、プレゼンテーションを行うことができます。
 - ・指定シンポジウム会場に限り、資料配布やアンケートを実施することができます。
 - ・ポスター・展示会場の「共催シンポジウムスポンサー資料コーナー」へ貴社リーフレットを設置し、参加者が資料を持ち帰れるようにいたします。
- 注意事項
 - 【全般】
 - ・申込状況により、ご希望に添えない場合がございます。
 - ・共催シンポジウムは、日本生理学会100周年記念大会と参加各社の共催とします。
 - ・ご請求書はシンポジウム枠の決定後、運営事務局より送付させていただきます。
 - 【資料配布・アンケート】
 - ・資料やアンケートなどの紙媒体を配布する場合は、シンポジウム開始前の休憩時間に講演会場内の各座席へ設置いただく、または、会場出入口（外側）にて配布してください。
※前の講演が延長する場合がありますので、会場出入り口での配布を推奨しています。
 - ・紙媒体でアンケートを回収する場合は、会場出入口（外側）にてお願いします。
 - ・アンケートは動画にQRコードを表示する等の方法で、デジタル媒体での実施も可能です。
 - 【共催シンポジウムスポンサー資料コーナー】
 - ・A4サイズ1頁（両面印刷可）のリーフレットを1種類設置できます。
 - ・お申し込みいただいた複数社の資料を同じコーナーへ設置します。
- 共催証
1社につき5枚お渡しします。それ以上の枚数をご希望の場合、受付にて参加費のお支払いをお願いします。資料配布時など、身に付けてください。

●申込み期限

2022年10月31日（月）

●シンポジウムの内容など

大会ホームページ（<https://www2.aeplan.co.jp/psj2023/program/>）をご確認ください。

●申込み方法

大会ホームページよりお申込みください。申込みは先着順となります。

●お問い合わせ先

第100回日本生理学会大会 運営事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原 2-14-14 新大阪グランドビル 6階

株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内

TEL: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164 E-mail: e-psj2023@aeplan.co.jp

広告募集のご案内

● 広告メニュー

1) プログラム抄録集広告

| | | | |
|----------|------------------|-----------|----------|
| 仕様 | A4 判、2,000 部（予定） | | |
| 抄録集発行予算 | 2,000,000 円 | | |
| 広告料金（税込） | | | |
| 表紙 4 | 1 頁 | 220,000 円 | （1 口）カラー |
| 表紙 2 | 1 頁 | 198,000 円 | （1 口）カラー |
| 表紙 3 | 1 頁 | 165,000 円 | （1 口）カラー |
| 後付け | 1 頁 | 77,000 円 | （2 口）白黒 |
| 後付け | 1/2 頁 | 44,000 円 | （2 口）白黒 |

*（ ）内は掲載社数の想定。

* 表紙 2、3、4 については、複数のお申込みがあった場合、先着順にて決定させていただきます。ページ割決定後に請求書を発行致します。

原稿提出期限 2022 年 11 月 25 日（金）

2) ホームページバナー広告

| | |
|-------|---|
| URL | http://aeplan.co.jp/psj2023/ |
| コンテンツ | TOP/開催概要/会長挨拶/プログラム/演題募集/参加登録/参加者への案内 座長・演者への案内/アクセス 等 |
| 掲載期間 | 申し込み後～2023 年 3 月 31 日（金） |
| 募集数 | 2 件 |
| 掲載費用 | 110,000 円 |
| 掲載サイズ | W190px×H60px |
| 入稿形式 | GIF（アニメ、無限ループ可）、JPEG 指定 URL へのリンク可 |

3) スクリーン動画広告

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 仕様 | 講演会場のセッション開始前や休憩中にスクリーンへ 広告スライド投影 |
| 募集数 | 2 件 |
| 掲載費用 | 220,000 円 |
| 入稿形式 | PowerPoint（1 社につき 20 秒程度、音声なし） |
| 原稿提出期限 | 2023 年 2 月 28 日（火） |

●原稿提出方法

広告原稿、データのいずれかを下記運営事務局までメールまたは郵送にてお送りください。

●申し込み期限

2022年11月25日（金）

●申込み方法

大会ホームページよりお申込みください。なお、申込みは先着順となります。

●お問い合わせ先

第100回日本生理学会大会 運営事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6階

株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内

TEL: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164 E-mail: e-psj2023@aeplan.co.jp

出展のご案内

●名称

日本生理学会100周年記念大会 付設展示会

●展示会スケジュール（予定）

搬入 2023年3月13日（月） 13:00-18:00

展示 2023年3月14日（火）～16日（木） 9:00-17:00

搬出・撤去 2023年3月16日（木） 17:00-19:00

●会場

国立京都国際会館 イベントホール（京都市左京区宝ヶ池）

●募集小間数（予定）

40小間

●出展料金

企業展示：220,000円（税込）／小間

アカデミア展示：110,000円（税込）／小間

書籍展示：11,000円（税込）／机2本

《出展料金に含まれるもの》

- ①所定小間使用料
- ②基礎小間設営料（基礎小間の仕様については、次頁をご覧ください。）

《出展料金に含まれないもの》

- ①基礎小間以外の小間設営料
- ②小間内装飾料
- ③電話・通信回線料等の工事料および使用料
- ④電気工事代
- ⑤水道・光熱代
- ⑥出展ブース関係人件費、維持費、要員旅費、およびサービスに関わる費用（備品等）
- ⑦その他設営・管理に関する一切の諸費用

●企業展示・アカデミア展示 基礎小間仕様

サイズ：間口 1,980mm×奥行 990mm×高さ 2,400mm

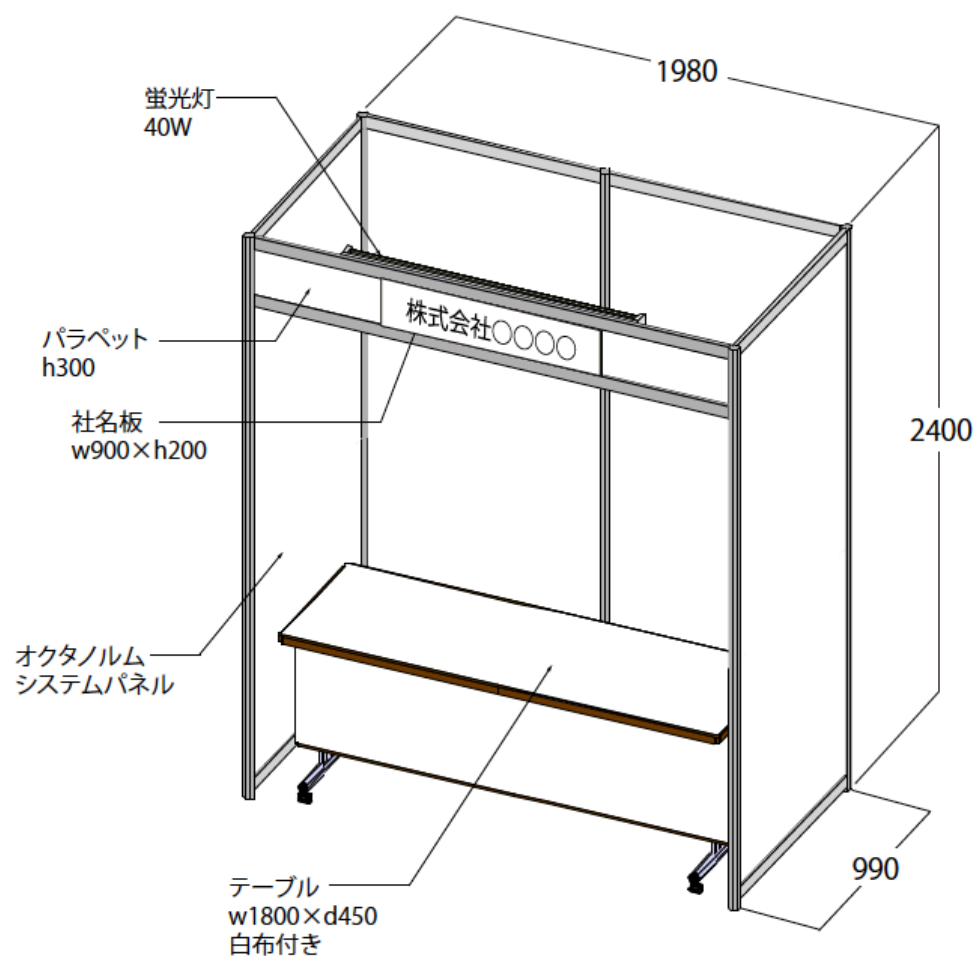
間仕切り：システムパネル ※両面テープ、釘などは使用できません。

社名板：1枚（統一書体）W900mm×H200mm

展示台：長机1本 W1,800mm×D450mm×H700mm

※スペース小間にてお申込みの場合は、床面に墨出しした上でお引渡しいたします。

（その場合、バックパネル、袖パネル、社名板、蛍光灯等は設置されません。）



●書籍展示 仕様

長机1本：W1,800mm×D450mm×H700mm ※1小間で机2本付き

●小間割

出展申込書を受付後、出品物の種類・形状・小間数等を考慮の上、出展者にご連絡いたします。

●電気

電気を必要とされる場合は、お申込みの容量を用意いたしますので、別紙申込書にご記入ください。料金等、詳細については、2023年1月中旬頃に送付予定の「出展の手引き」をご覧ください。

●出展証

1小間につき2枚お渡しします。それ以上の枚数をご希望の場合、受付にて参加費のお支払いをお願いします。

●その他

- ・各出展物の管理は出展者が持つものとし、展示期間中の出展物の盗難・紛失・災害に対して補償などの責任は一切負いませんのでご了承ください。
- ・出展申込み受付後、会期終了までに請求書を発行いたします。

●申込み期限

2022年11月25日（金）

●申込み方法

大会ホームページよりお申込みください。なお、申込みは先着順となります。

●お問い合わせ先

第100回日本生理学会大会 運営事務局

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2-14-14 新大阪グランドビル6階

株式会社 エー・イー企画 大阪オフィス内

TEL: 06-6350-7163 FAX: 06-6350-7164 E-mail: e-psj2023@aeplan.co.jp